

平成24年度 複合型特別養護老人ホームの公募選定結果

事業者名	(仮称) 社会福祉法人 千里会 設立準備会				
代表者氏名	田園 直樹				
応募行政区	小倉北区				
評価結果		評価項目	配点	評価	得点
	基本方針・運営方針に関するもの	法人の経営理念	4	C	2.4
		施設の基本方針	4	C	2.4
		地域福祉の核となる取組み	2	C	1.2
		利用者への情報提供・情報公開	2	C	1.2
		利用者一人ひとりへのサービス提供	2	C	1.2
		サービスの質の向上策	2	C	1.2
		職員の育成・職場環境	2	C	1.2
		低所得者に対する配慮	2	B	1.6
		利用者の尊厳の保持	2	C	1.2
		苦情解決の仕組み	1	C	0.6
		事故発生時の対応	1	C	0.6
		衛生管理等の対策	1	B	0.8
		非常災害対策	1	C	0.6
		虐待防止対策	1	C	0.6
		個人情報保護対策	1	C	0.6
		サロン活動の実施方法と地域密着型としての地域との連携	3	B	2.4
		地域住民への生活支援	3	C	1.8
		認知症高齢者ケア	3	B	2.4
		ユニットケア（個別ケア）の実現	3	B	2.4
		事業計画の具体性・実現性と継続性	20	C	12.0
	小計		60	—	38.4
	施設の特徴に関するもの	施設配置（既存施設との距離）	10	C	6.0
		立地面での特徴	15	C	9.0
		施設のハード面の特徴	5	B	4.0
		環境への配慮	5	C	3.0
		複合型施設としての創意工夫や取組みの特徴	5	B	4.0
小計		40	—	26.0	
合計		100	—	64.4	

【評価レベル】

評価レベル	乗率	
A	100%	特に優れている（高度な能力を有している）
B	80%	優れている（十分な能力を有している）
C	60%	普通（一応の能力を有している）
D	40%	不十分である
E	0%	不適切である

事業者名	(仮称) 社会福祉法人 千里会 設立準備会
選定理由	<p>〔総評〕</p> <p>今回の提案は、全体としては、施設と地域をつなぐための専門部署の設置や24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスへの取組みなど意欲的な提案がなされるとともに、各項目の「基本的な考え方」や「具体的な取組み」、「取組みを実現するための課題と方策」がこれまで運営してきた介護サービスの経験・実績に基づいて具体的に記載されている。</p> <p>特に、今回の公募は、「複合施設」であるという点を踏まえた創意工夫や取組みの特徴の提案を重視しているところであるが、特養、GH、小規模多機能型居宅介護及び地域交流サロンのそれぞれのサービスや連携のあり方が、住み慣れた地域での生活をできるだけ継続させる観点からターミナルケアも視野に入れて具体的に提案されている。</p> <p>その他プラスの評価となった個別項目については以下のとおりである。</p> <p>〔項目ごとの評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「低所得者に対する配慮」では、社会福祉法人による軽減制度のほか、GHの入居一時金の廃止や生活保護者でも利用できる料金設定、様々な減免制度や情報の利用者への提供などが具体的に書かれている。 ○「衛生管理等の対策」では、基本的な感染予防対策に加え、高齢者の感染予防に有効な口腔ケアを徹底するため、口腔ケア室を設け、専門医による定期的な検診など独自の提案がなされている。 ○「サロン活動の実施方法と地域密着型としての地域との連携」では、サロン活動を積極的に展開するため、施設を地域に開放するだけでなく、専門の「つなぐ」スタッフを配置し、積極的に地域に出向いて栄養士の指導のもと、昼食会などへの参加を呼びかけるなど、高齢者の孤立を防ぐ取組みが具体的に提案されている。 ○「認知症高齢者ケア」では、心身の状態やこれまでの生活歴などをきめ細かく把握した上で、利用者の主体性や一日のリズムを重視したケアの提供や役割のある生活、傾聴ボランティアの導入などの提案が具体的に記載されている。 ○「ユニットケア（個別ケア）の実現」では、利用者の残存機能を活かすための「生活リハビリ」を取り入れた支援や椅子やテーブルの高さ等を各人に合わせるなど食事の自立に向けた取組み、利用者のペースに合わせた「待つ介助」の実践など、個別ケアに関する具体的な取組みが提案されている。 ○「施設面での特徴」では、介護するスタッフの動線を尊重した設計や、交流広場やサロンを地域の方に利用してもらうための様々な工夫、太陽の光や外気の風を感じられる生活環境重視などの工夫がなされている。

付帯条件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定までに既存の事業所が実地指導等で指摘を受けた場合は、指摘事項について改善を行うこと。また返還金等が発生した場合は誠実に返還すること。 ○ 指定までの期間も継続的に地域住民への説明を行い、理解と協力を得られるように努めること。 ○ 複合型施設の運営にあたっては、地域密着型サービスの理念に基づき、サロン活動を通じて介護予防の拠点と地域交流の場としての役割を果たすとともに、地域福祉・地域医療とのネットワークの強化に努め、地域における在宅支援の介護拠点を目指すこと。 ○ 提案の早期実現に向け、十分な組織体制を整えるとともに、開設を安全・円滑に行うため、施設全体として、事前の職員研修等の準備を徹底すること。また、職員のキャリアアップを図るため、支援の取組みを一層充実させること。
その他 検討会意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案内容が具体的であり、新規分野に取り組んでいこうとする意欲が感じられる。 ○ ターミナルケアについては、今後、医療機関との連携を強化し、増加する需要に応じてほしい。